



殺虫剤分類	28
殺菌剤分類	P3

水稲用殺虫殺菌剤

ツムシパディート® 箱粒剤

いもち病・水田害虫に 威力を発揮!!

適用拡大
移植時
側条施用



ツインバディート®

箱粒剤

有効成分：シアントラニプロロール…0.75%、イソチアニル…2.0%

特長

- 1 いもち病防除に優れた効果を持った「イソチアニル」含有**
イソチアニルは耐性菌発生リスクが低い病害抵抗性誘導剤です。既存の薬剤に耐性を持ったいもち病菌に対して高い効果と長い残効性を持っています。
- 2 新規成分「サイアジピル」で効率的な害虫防除**
新しい作用性を持ち、水稲に対する安全性も高いサイアジピル(一般名：シアントラニプロロール)がイネミズゾウムシ等の初期害虫とチョウ目害虫等に優れた効果を発揮します。
- 3 は種前から移植当日まで、幅広い使用時期**
イネに対する安全性が高く、効果の持続期間も長い為、は種前から移植当日までの間にいつでも使用可能です。

適用病害虫および使用方法

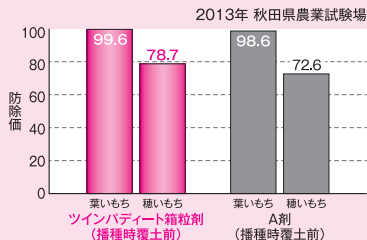
2020年8月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロロールを含む農業の総使用回数	イソチアニルを含む農業の総使用回数
稲(箱育苗)	いもち病、白葉枯病、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、ツマグロヨコバイ、イネツトムシ、コブノメイガ、イナゴ類、穂枯れ(ごま葉枯病)、内穎褐変病、イネヒメハモグリバエ、ヒメトビウンカ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する	1回	3回以内 (移植までの処理は1回以内、 本田では2回以内)
			は種時(覆土前)~移植当日		育苗箱の上から均一に散布する		
			は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する		
			は種時(覆土前)		育苗箱の上から均一に散布する		
稲	いもち病、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ	1kg/10a	移植時		側条施用		3回以内 (直播での場合は種時又は移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)

防除効果

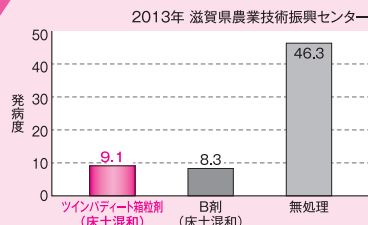
■いもち病

品 種：ナツミノリ
播 種 日：4月10日
移 植 日：5月15日
発生状況：葉いもち：中発生(接種)
穂いもち：多発生
調 査 日：葉いもち：
7月26日(移植72日後)
穂いもち：
9月12日(移植120日後)



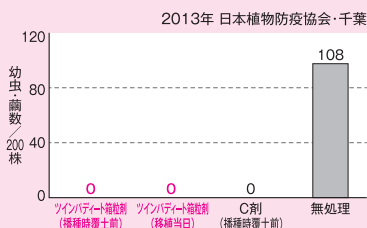
■苗腐敗症(もみ枯細菌病)

品 種：キヌヒカリ
播 種 日：10月29日
処 理 日：10月29日
発生状況：多発生(接種)
処 理 量：ツインバディート
箱粒剤：50g/箱
B 剤：30g/箱
調 査 日：11月12日(播種14日後)



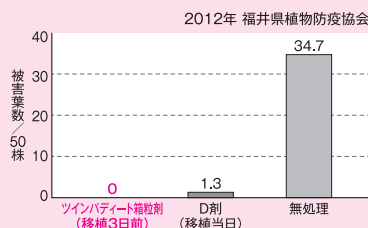
■イネドロオウムシ

品 種：コシヒカリ
播 種 日：4月15日
移 植 日：5月10日
発生状況：多発生
調 査 日：6月10日(移植31日後)



■フタオビコヤガ

品 種：コシヒカリ
播 種 日：4月18日
移 植 日：5月13日
処 理 日：ツインバディート
箱粒剤：5月10日
D 剤：5月13日
発生状況：少発生
調 査 日：7月5日(移植53日後)



■注意事項

〈使用上の注意〉

- 床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用してください。また、処理した床土または覆土を放置しないでください。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
- ヒメトビウンカに対しては残効性に注意してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきははいないに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。また、処理した稲苗を移植した水田ではいくさを栽培しないでください。

- さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、できるだけ病害虫防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

〈安全使用上の注意〉

- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した場所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。●防除日誌を記載しましょう。

1887(20-9)